

株式会社クラdashi

ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」の運営によるフードロス削減と社会支援

株式会社クラdashiは、食料不均衡を解決するために、日本のフードロスを2030年までに50%削減すると同時に、フードバンク団体や社会貢献団体を支援します。

<目標・取組>

- ①消費可能でありながら通常の流通ルートでの販売が困難な商品を買取り、ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」で販売することで、日本のフードロスを2030年までに50%削減します。
- ②売り上げの一部を寄付することで、フードバンク団体・社会貢献活動団体を継続的に支援します。
- ③学生を地方農家へ派遣するインターンシップの運営により、地域課題の解決および一次製品のロス削減に取り組みます。

<達成状況（2023末時点）>

- ①消費可能でありながら通常の流通ルートでの販売が困難な商品を買取り、ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」で販売することで、日本の事業系フードロスの削減に貢献。
 - ・2024年3月末時点の累計フードロス削減量：22,356トン
- ②売り上げの一部を寄付し、フードバンク支援及び社会貢献団体の活動を支援。
 - ・2024年3月末時点の累計支援額：1.3億円
 - ・うち、飢餓・貧困対策に取り組む団体への2024年3月末時点の累計支援額：11百万円
- ③少子高齢化などの課題を抱える地域の農家・漁業者に学生が訪れ、収穫支援などを行うインターンシップ「クラdashiチャレンジ」の開催と運営により、一次製品のロス削減や魅力の発信を実施。
 - ・2024年3月末時点の累計開催回数：39回（24地域）
 - ・2023年度の開催回数：14回

<目標に向けた今後の取組>

- ①既に日本のフードロス50%減目標は達成されたが、さらなるフードロス削減に向けて取り組みを行う。ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」に限らず、オフラインでの未利用食品の販売や消費者の啓発、食品製造業・卸業や外食産業など、フードロス削減に取り組む企業を食品サプライチェーン全体を通じて支援。
- ②事業成長を加速することで、フードバンク・社会貢献活動の支援を強化。
- ③クラダシチャレンジの継続開催や取り組みの発展により、地域の一次産品のロス削減や農業・漁業といった一次産業の活性化を支援。

【その他】

- ・「Kuradashi」に出品いただくパートナー企業を中心に、フードロスに限らない食のサステナビリティ課題の啓発と解決のための共創・協働を推進する。
事例：<https://kuradashi-forum.com/2023/index.html>
- ・冷凍宅配弁当市場への参入などを通じて、家庭でのフードロス減や健康・栄養問題に貢献していく。

<関連情報>

- ・ Kuradashiとは：<https://www.kuradashi.jp/about>
- ・ 支援レポート：<https://www.kuradashi.jp/report>
- ・ クラダシ基金：<https://www.kuradashi.jp/fund>

(東京栄養サミットアクションプランにおいて賛同した項目)

- | | |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 食料システムの変革 | <input type="checkbox"/> 個人の栄養に関する行動変容の促進 |
| <input type="checkbox"/> 食関連産業のイノベーションの推進 | <input checked="" type="checkbox"/> 途上国・新興国の栄養改善への支援 |

【企業・団体の概要】

クラダシは、ミッションを「ソーシャルグッドカンパニーでありつづける」、ビジョンを「日本で最もフードロスを削減する会社」と掲げ、持続的に社会課題の解決に取り組むビジネスを展開しています。フードロス削減を目指し、賞味期限が切迫した食品や季節商品、パッケージの汚れやキズ・自然災害による被害などが原因で、消費可能でありながら通常の流通ルートでの販売が困難な商品を買取り、ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」で販売しています。また、その売り上げの一部でさまざまな社会貢献活動を支援しています。